

7月26日 年間第 17 主日

## イエスは五千人を養う

ヨハネによる福音書 6 章 1～15 節

<sup>1</sup>その後、イエスはガリラヤ湖、すなわちティベリアス湖の向こう岸に渡られた。<sup>2</sup>大勢の群衆が後を追った。イエスが病人たちになさったしるしを見たからである。<sup>3</sup>イエスは山に登り、弟子たちと一緒にそこにお座りになった。<sup>4</sup>ユダヤ人の祭りである過越祭が近づいていた。<sup>5</sup>イエスは目を上げ、大勢の群衆が御自分の方へ来るのを見て、フィリポに、「この人たちに食べさせるには、どこでパンを買えばよいだろうか」と言われたが、<sup>6</sup>こう言ったのはフィリポを試みるためであって、御自分では何をしようとしているか知っておられたのである。<sup>7</sup>フィリポは、「めいめいが少しずつ食べるためにも、二百デナリオン分のパンでは足りないでしょう」と答えた。<sup>8</sup>弟子の一人で、シモン・ペトロの兄弟アンデレが、イエスに言った。<sup>9</sup>「ここに大麦のパン五つと魚二匹とを持っている少年がいます。けれども、こんなに大勢の人では、何の役にも立たないでしょう。」<sup>10</sup>イエスは、「人々を座らせなさい」と言われた。そこには草がたくさん生えていた。男たちはそこに座ったが、その数はおよそ五千人であった。<sup>11</sup>さて、イエスはパンを取り、感謝の祈りを唱えてから、座っている人々に分け与えられた。また、魚も同じようにして、欲しいだけ分け与えられた。<sup>12</sup>人々が満腹したとき、イエスは弟子たちに、「少しも無駄にならないように、残ったパンの屑を集めなさい」と言われた。<sup>13</sup>集めると、人々が五つの大麦パンを食べて、なお残ったパンの屑で、十二の籠がいっぱいになった。<sup>14</sup>そこで、人々はイエスのなさったしるしを見て、「まさにこの人こそ、世に来られる預言者である」と言った。<sup>15</sup>イエスは、人々が来て、自分を王にするために連れて行こうとしているのを知り、ひとりでもたまたまに退かれた。

他の朗読：列王記下 4:42～44 詩編 145:10, 11, 15～18 エフェソ 4:1～6

### Lectio …読む

ヨハネはこの話を、おかしみをもって語ります。弟子たちが奇跡を期待していなかったことは明らかです。フィリポは6ヶ月分の給料にも値するであろう莫大な費用のことしか頭に浮かびません。アンデレに見えるのは、少年のパンと魚ぐらいです。

イエスには何の問題もありませんでした。彼は既に、このことがどう解決されるかを知っていたのです。イエスは少年のパンと魚を受け入れ、奇跡的に増やすのです。残りだけで、十二籠もあつたのです！

この奇跡の意味は何なのでしょう。私たちは表面通りの意味で立ち止まることもできますが、6章全体を読み進めると、ヨハネが付け加えた側面を見ることが出来ます。

ヨハネは食べ物テーマを発展させます。彼はたとえを用いて、生き生きと描き出すのです。イエスは「命のパン」として示されます。パンは命を、特に霊的な命を支えます (27～36 節)。

ここでパンは、ふたつのものを表しています。「イエスの教え」と「イエス自身」です。イエスとその本性についてのこの描写は、私たちを「養い」、力付けてくれます。

イエスは、人々の肉体的必要性に並行して、霊的必要性を満たすことについて表現しています (26、27 節)。この霊的な食べ物から恵みを受けるためには、私たちはイエスを信じなければなりません (29 節)。イエスの教えは、それを基に自らの人生を生きる者にとって完全な栄養であり、僅かなかけらさえも価値のあるものとなります。

## Meditatio …黙想する

この奇跡を通して、イエスは弟子たちに何を教えようとしたのでしょうか。

私たちはこのことから、何を学びますか。

あなたはイエスと彼の言葉にどのように「養われ」ているのでしょうか。ほとんどの人は肉体的な食べ物  
の大切さを知っています。あなたは霊的な食事も十分に大切にしているか、考えてみて下さい。

## Oratio …祈る

詩編 145 編は、被造物を心にかける神に対する賛歌です。15～16 節は「食べ物」が必要に応じて  
与えられることについて語っています。聖書の言葉が、あなたに力を与えたときのことを思い出して  
みてください。

あなたの人生において、さまざまな方法であなたを助け、必要を満たしてくれたことを具体的に思  
い巡らせ、神に感謝を捧げましょう。あなたの祈りとこの詩編の言葉が、将来にわたる信仰と信頼を  
築き上げる助けとなりますように。

## Contemplatio …観想する

イエスが食べ物を増やした時、群衆は「まさにこの人こそ、世に来られた預言者である」と証しし  
ました。もしかしたら彼らは、エリヤが 20 個のパンを増やして何百もの仲間の預言者を養ったという、  
列王記下 4 章 42～44 節にある類似した奇跡を思い出し、関連づけたかもしれません。

エフェソ 4 章 1～6 節においてパウロは、キリスト者はイエスと共に、イエスの内に一つの体であ  
ることを思い起こさせてくれています。これは私たちが救いという同じ希望を共有している、という  
ことです。私たちは「唯一であって、すべてのものを通して働き、すべてのものの中におられる神」  
を共有しているのです。だから私たちは皆この約束に与ることができるのです。